

弾道ミサイルの発射に係る対応について（御確認）

◆ **登校前**にJアラート等による緊急情報発表された場合

【登校前の児童在宅時の対応】

- 本県対象・本県対象外であっても **自宅待機**

※Jアラート等の緊急情報が流れた場合は、どの地区であっても自宅待機です。

【弾道ミサイルの落下確認後の対応】

- ① 領海外に落下の場合 → **登校**
- ② 領土・領海内にミサイル落下 → **臨時休校**

※登校・臨時休業の対応については緊急配信メールでお知らせします。

資 料

ミサイル落下時の行動

宮城県教育庁スポーツ健康課

1 弾道ミサイルについての知識

- 弾道ミサイルは発射して短時間で着弾する。
（ミサイルの種類や発射場所によって異なるが、約10分前後）
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災無線、緊急メール等によって情報を発信する。

2 メッセージが流れた後の避難行動

【屋外にいる場合】

- できるだけ丈夫な建物や地下街に避難する。
（木造の建物に比べ、コンクリート構造の建物がより安全である）
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- 窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。
（暴風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないため）

3 ミサイルが着弾した後の行動

- テレビ、ラジオ、インターネット等を通して情報収集に努める。
- 行政等から指示があった場合はそれに従って落ち着いて行動する。

【屋外にいた場合】

- 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または、風上に避難する。

【屋内にいた場合】

- 換気扇を止め、窓を閉め、できればガムテープ等で目張りをするなどして密閉する。